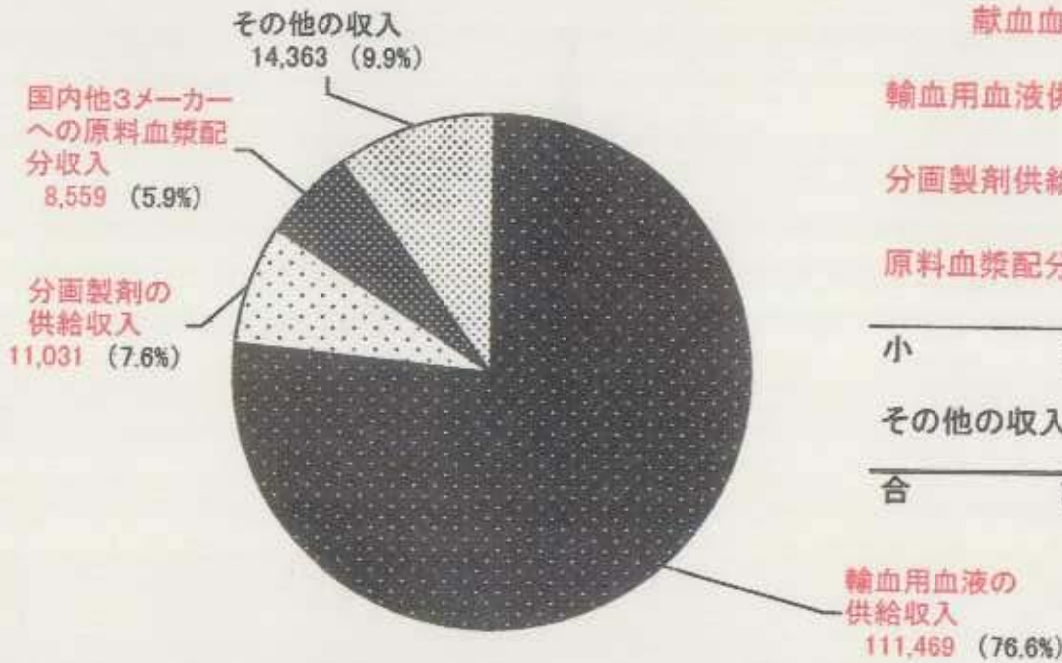


平成13年度血液事業特別会計の収支概要

単位:百万円 ()は構成比

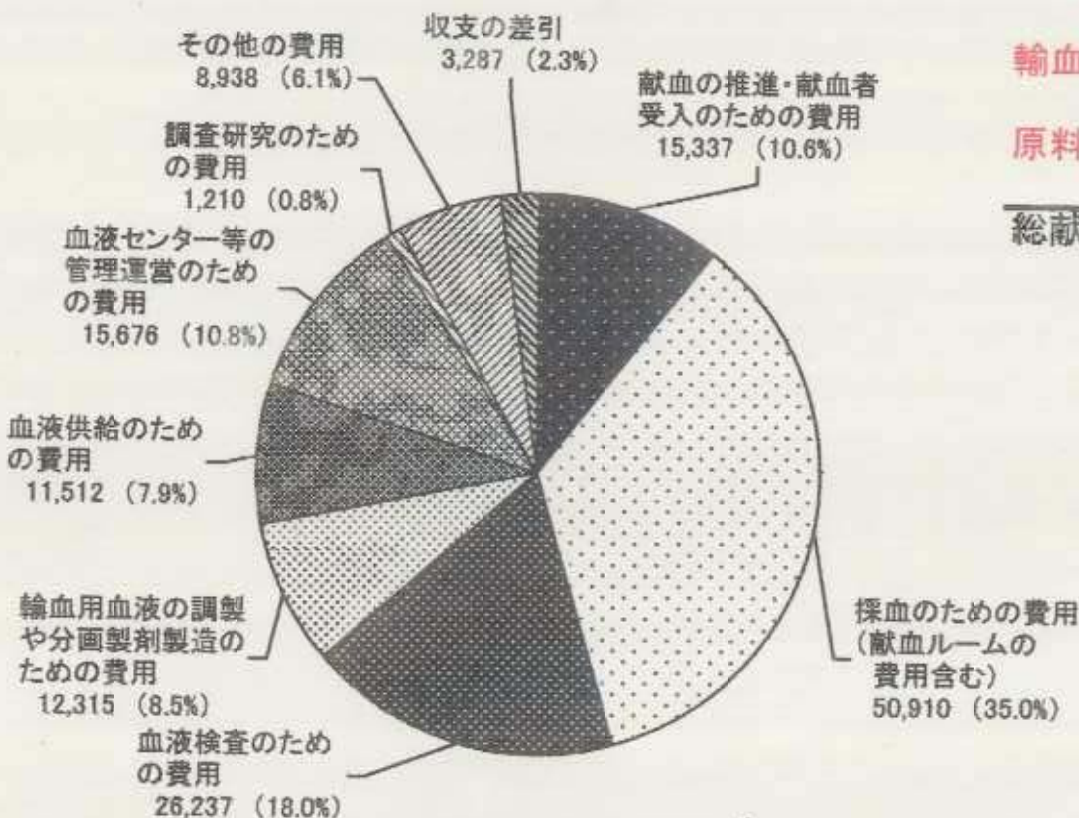
収入の概要(収入総額 145,422百万円)



献血血液から得られる収入割合

輸血用血液供給収入	111,469	85.1%
分画製剤供給収入	11,031	8.4%
原料血漿配分収入	8,559	6.5%
小計	131,059	100.0%
その他の収入	14,363	
合計	145,422	

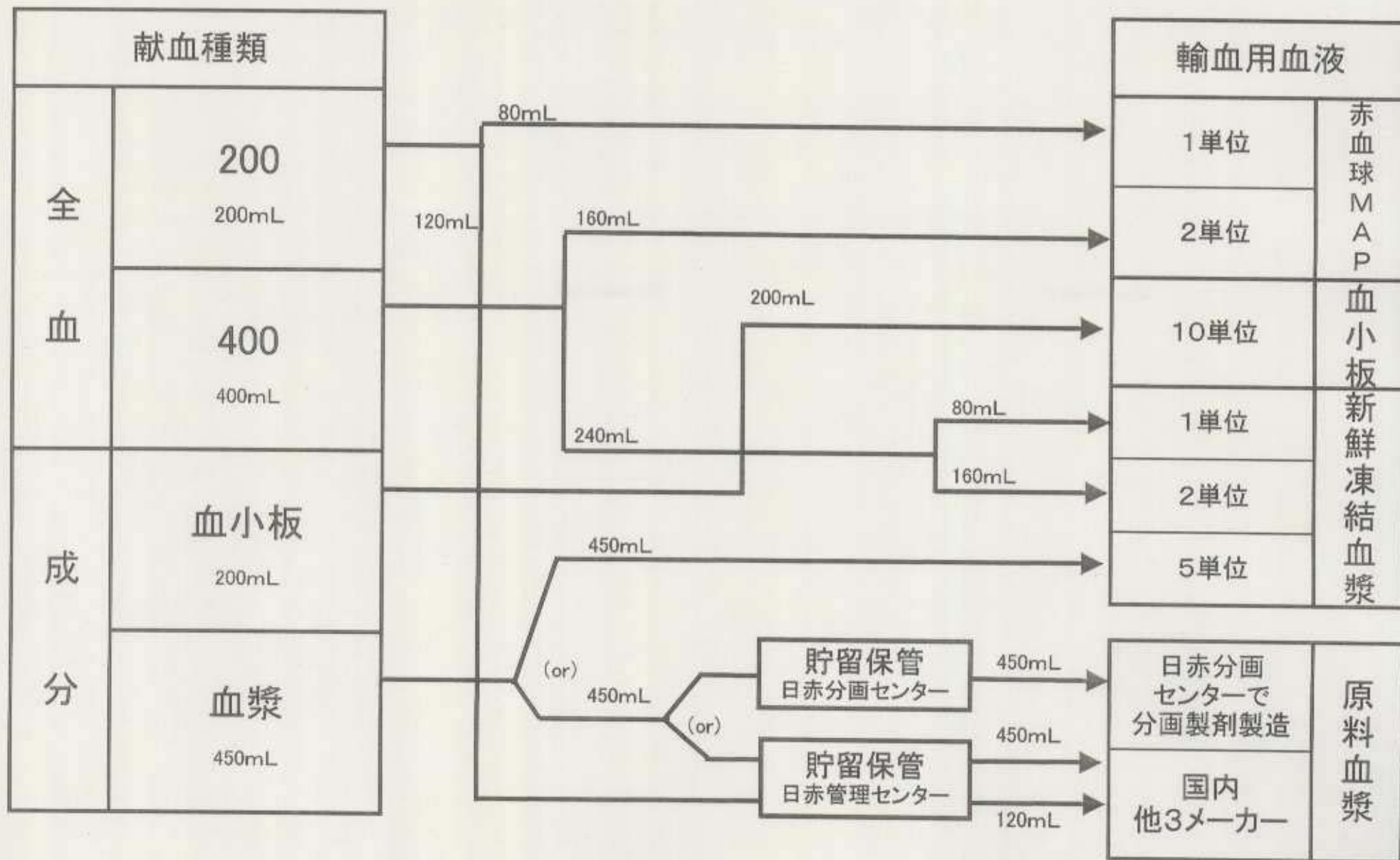
支出の概要(支出総額 145,422百万円)



献血血液の確保割合

輸血用血液	90万L	46.4%
原料血漿	104万L	53.6%
総献血量	194万L	100.0%

献血血液から血液製剤への流れについて



※(or)は、岐路となるいずれか一方を製造するものであること

血液製剤別原価一覧表

日本赤十字社

(単位:円)

区分	製 造 原 価			管 理 ・ 供 給		合 計
	材料費	人件費	経費	管理供給費等		
200(赤血球MAP)	3,585	5,972	2,048	3,644		15,249
	器具・消耗品等 1,150	医師・看護師・薬剤師・検査技師・事務職員 5,972	献血者処遇費・業務普及費等に要する費用 474	血液製剤等の供給費用及び管理部門等の費用 3,644		
	採血関係試液(硫酸銅基準液・生理食塩水他)・検査試薬(血液型・感染症・生化学他)・薬品等 2,435		ルーム買貨料・機器リース料 174			
			設備・機器の保守費用 376 その他の採血製造等に要する費用 1,024			
400(赤血球MAP)	3,889	6,594	3,294	3,682		17,459
	器具・消耗品等 1,195	医師・看護師・薬剤師・検査技師・事務職員 6,594	献血者処遇費・業務普及費等に要する費用 474	血液製剤等の供給費用及び管理部門等の費用 3,682		
	採血関係試液(硫酸銅基準液・生理食塩水他)・検査試薬(血液型・感染症・生化学他)・薬品等 2,694		ルーム買貨料・機器リース料 290			
			設備・機器の保守費用 626 その他の採血製造等に要する経費 1,904			
血小板 (10単位)	15,414	9,779	9,345	11,848		46,386
	器具・消耗品等 12,193	医師・看護師・薬剤師・検査技師・事務職員 9,779	献血者処遇費・業務普及費等に要する費用 660	血液製剤等の供給費用及び管理部門等の費用 11,848		
	採血関係試液(硫酸銅基準液・生理食塩水他)・検査試薬(血液型・感染症・生化学他)・薬品等 3,221		ルーム買貨料・機器リース料 1,157			
			設備・機器の保守費用 2,506 その他の採血製造等に要する経費 5,022			
血漿 (5単位450mL)	6,935	7,414	3,801	3,563		21,713
	器具・消耗品等 4,016	医師・看護師・薬剤師・検査技師・事務職員 7,414	献血者処遇費・業務普及費等に要する費用 660	血液製剤等の供給費用及び管理部門等の費用 3,563		
	採血関係試液(硫酸銅基準液・生理食塩水他)・検査試薬(血液型・感染症・生化学他)・薬品等 2,919		ルーム買貨料・機器リース料 868			
			設備・機器の保守費用 936 その他の採血製造等に要する経費 1,337			
クロスエイトM (1000単位)	6,425	5,542	8,055	3,697		23,719
	器具・消耗品等 1,161	分画製剤製造のための技術系及び事務系職員 5,542	製造経費 8,055	管理部門等の費用 3,697		
	試験費用・薬品等 5,264					
参考 クロスエイトM (90単位分)	(578)	(499)	(723)	(333)		(2,133)
アルブミン (20%50mL)	556	793	1,091	370		2,810
	器具・消耗品等 273	分画製剤製造のための技術系及び事務系職員 793	製造経費 1,091	管理部門等の費用 370		
	試験費用・薬品等 283					

※全血製剤等の供給量の少ない血液製剤については、省略したものであること。

献血種類別収支の現況

(単位:円)

献血種別			収入	費用	差引
全血	200	医療機関に赤血球1単位を供給し、原料血漿(120mL)を国内他3メーカーへ配分(単価:注)6.②)	赤血球1単位 6,255 原料血漿 1,438 7,693	15,249	△ 7,556
	400	医療機関に赤血球2単位と新鮮凍結血漿の1単位及び2単位を供給	赤血球2単位 12,509 血漿1単位 5,507 血漿2単位 11,014 29,030	17,459	11,571
成分	血小板	医療機関に血小板(10単位)を供給	76,178	46,386	29,792
		医療機関に新鮮凍結血漿(5単位)として供給した場合	22,336	21,713	623
	血漿	原料血漿(450mL)を国内他3メーカーに配分した場合(単価:注)6.①)	5,926	21,993	△ 16,067
		日赤の血漿分画センターでクロスエイトMとアルブミンを製造し、医療機関に2製剤とも供給した場合	14,081	26,938	△ 12,857

- 注) 1. 血漿成分採血1人分からアルブミン20%50mL製剤が1本製造されること。
 2. 血漿成分採血1人分からクロスエイトM 90単位が製造されること。
 3. 赤血球MAPと血小板は、需要の多い照射製剤の薬価としたこと。
 4. 医療機関からの返品は考慮していないこと。
 5. 離島及び僻地での緊急の場合を含めた、血液製剤の安定的供給(全国14,000の医療機関に24時間、365日供給している)に必要な在庫に伴う期限切れによる減損等は考慮していないこと。
 6. 原料血漿の配分価格は、国の指導により以下のとおり定められていること。
 ① 凝固因子製剤用原料血漿 13.17円/mL
 ② その他分画用原料血漿 11.98円/mL